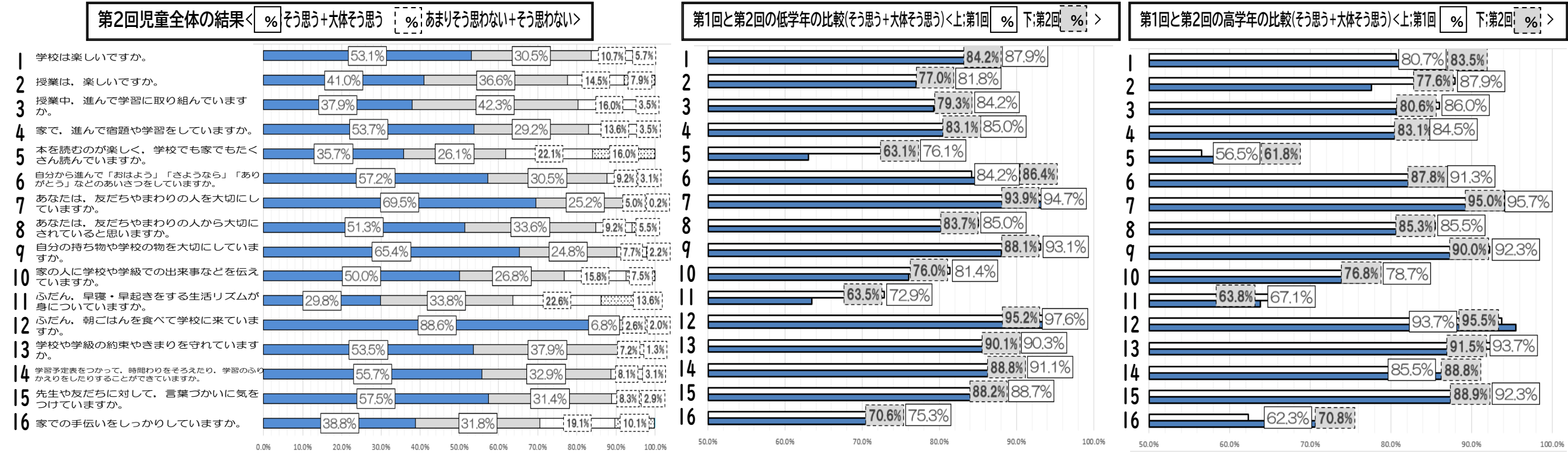


春寒も緩みはじめ、ようやく過ごしやすい気候となつてまいりました。日頃から本校教育活動にご理解・ご支援を頂きありがとうございます。さて、今年度第2回学校評価アンケート（2月実施）の集計結果についてお知らせします。のべ438名（96.2%）の保護者の方からの貴重なご意見と児童・教職員のアンケート集計結果を分析してまとめています。お忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございます。



児童全体のアンケートより

前回の児童全体の結果で、「そう思う」「大体そう思う」の割合が90%を上回っていた5つの項目を見てみると、**7.相手を大切に 94.7% (前回比+0.4)**、**9.物を大切に 90.2% (前回比+2.5)**、**12.朝ごはん 95.4% (前回比+0.8)**、**13.約束やきまりを守る 91.4% (前回比+0.4)**、**15.言葉遣い 88.9% (前回比+1.4)**と前回より少し減少傾向にはあるものの、ほぼ90%前後を保っており、本校児童のよさであると考えられます。

前回の児童全体の結果で「そう思う」「大体そう思う」の割合が80%を下回っていた3つの項目を見てみると、**5.読書 61.8% (前回比+5.4)**、**11.早寝早起きの生活リズム 63.6% (前回比+6.6)**、**16.家の手伝い 70.6% (前回比+1.2)**と、読書と生活リズムの割合が減少しているのが気になります。また、**2.授業は楽しいか 77.6% (前回比+7)**、**10.家の人に出来事を伝えているか 76.8% (前回比+3.4)**と新たに80%を下回る項目については、1時間あたりの授業時数が短縮したことや、週あたりの授業時数が増えたことによる負担が表れているのではないかと考えています。そして、家の人に「伝えたい」と思うことが少なくなっている要因にもなっていると考えられます。

低学年と高学年の比較より

低学年と高学年の主な増減に注目してみると、以下のようにになりました。

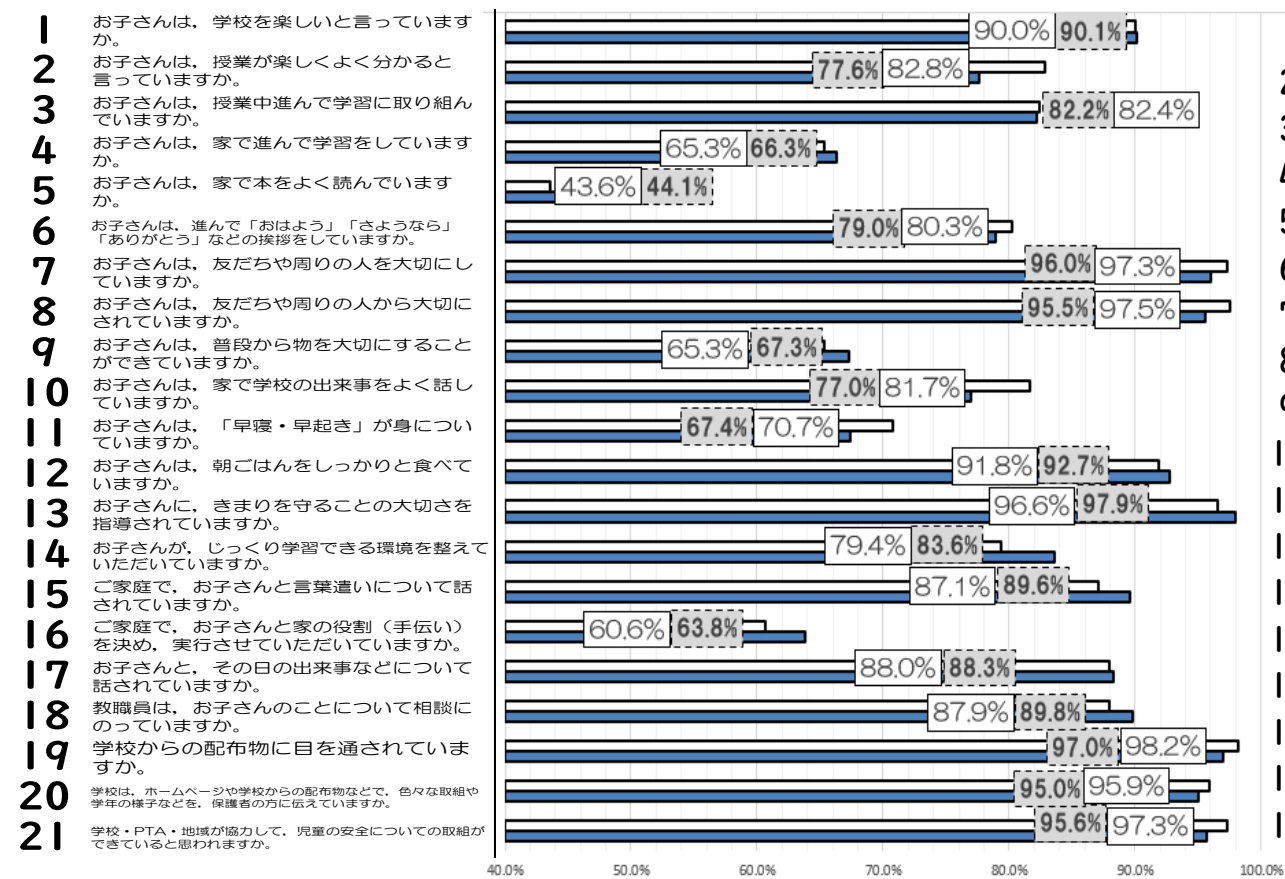
**UP↑低…6.自分からすすんであいさつ (+13)**  
**UP↑高…1.学校は楽しい (+2.8)**、**5.読書 (+5.3)**、**14.時間割やふりかえり (+3.3)**、**16.家の手伝い (+8.5)**

**DOWN↓低…5.読書 (-13)**、**9.物を大切に (-5)**、**10.家の人に出来事を伝える (-5.4)**、**16.お手伝い (-4.9)**  
**DOWN↓高…2.授業は楽しい (-10.3)**、**3.進んで学習に取り組む (-5.4)**、**11.早寝早起き (-3.3)**

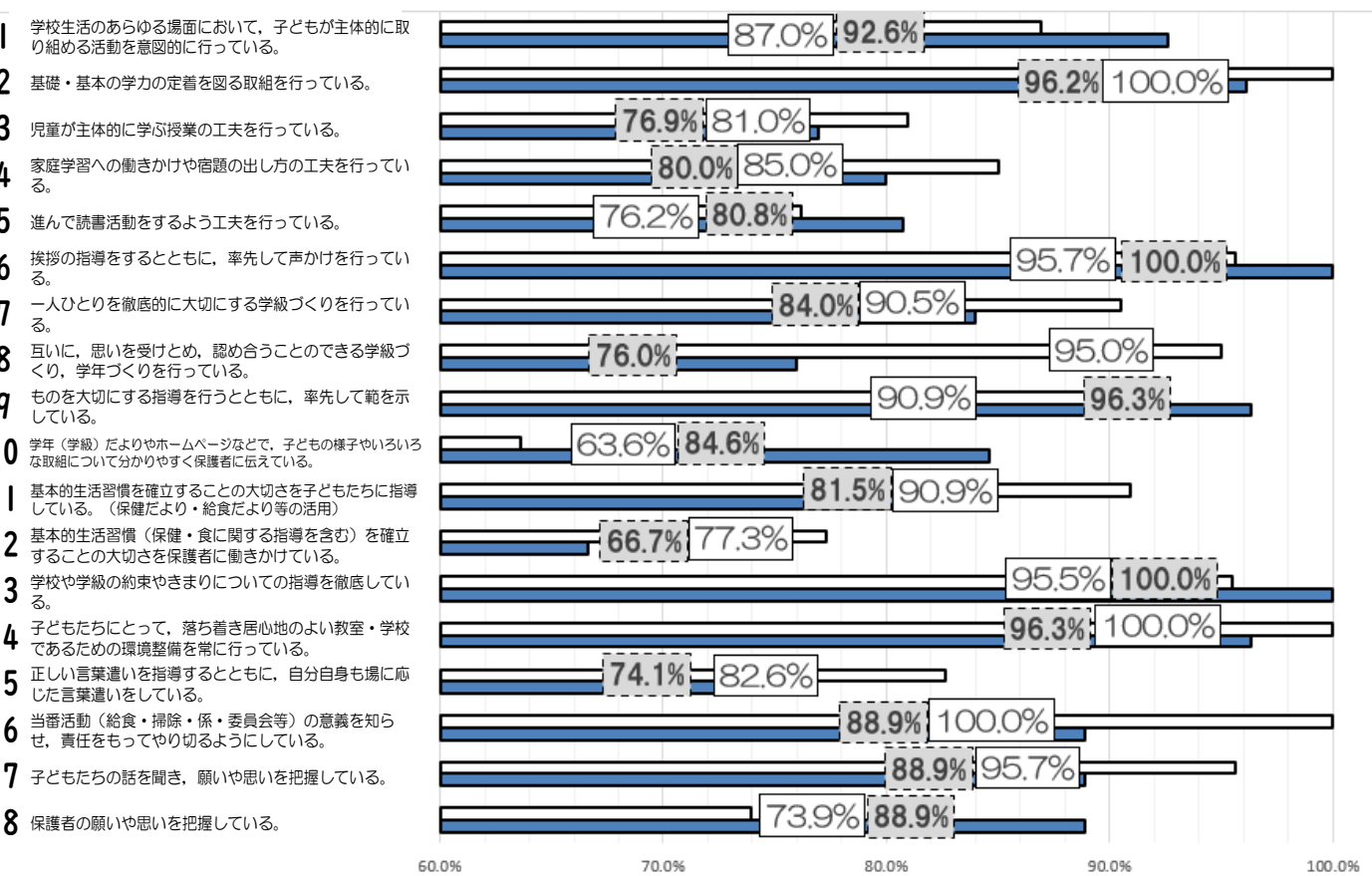
低学年は、学校生活に慣れるとともにいろいろな人と関わる機会が増えました。また、あいさつデーや児童会のあいさつ運動の取組などにより、教職員や高学年の人たちと元気よくあいさつをしている姿が多く見られます。高学年も、いろいろな人と関わる時間が増えたことが、楽しさにつながっていると考えられます。また、成長に伴い、進んで読書・見通しやふりかえり・手伝いなど、先を考えた行動をすることができるようになってきたのは喜ばしいことです。

一方で、低学年では、すすんで読書、物を大切に、お手伝い等、つけるべき力がまだまだ定着していないように思われます。学校でも、基礎基本や関わる意欲等をいろいろな場面で力をつけていき、それが自信となって家庭に「伝わる」ようにしていきたいと思います。また、高学年は、学年が進むにつれて学習が難しくなっていることが気持ちに表れているようです。さらに、他のことへの興味が生活リズムに影響しているのも気になります。

第1回と第2回の保護者の比較(そう思う+大体そう思う)<上;第1回 % 下;第2回 % >



第1回と第2回の教職員の比較(そう思う+大体そう思う)<上;第1回 % 下;第2回 % >



保護者アンケートより

前回の分析で気になっていた **5.読書(+0.5)**、**16.家の役割(+3.2)**や、**9.物を大切に(+2)**、**14.学習環境(+4.2)**、**17.その日の出来事(+0.3)**の項目が上昇しており、うちでのお子さまと意識して関わったりや声かけをしたりしていただいていることが表れているのではないかと思います。ありがとうございます。一方で、**10.出来事を話す(-4.7)**、**11.早寝早起き(-3.3)**の項目が減少したのが少し気にかかります。低学年のうちから当たり前にする雰囲気をつくり、保護者の方が一緒になって声かけや働きかけをしていただきますよう、これからも引き続きよろしくお願いします。

また、**2.授業がよく分かる(-5.2)**の項目については、至らぬ点があり非常に申し訳なく思います。一人一人が「授業がよく分かり楽しい」と思えるように、授業開発・授業改革を進め、児童の資質能力を高めていきたいと考えています。

教職員アンケートより

感染症感染拡大防止のために、いろいろな場面で工夫を凝らして学校教育活動を行ってきました。1年間を振り返り、今までのようにあたり前にできたものややりたかったことができなかったことで、より厳しく自己評価をしたことが割合の減少につながっているのではないかと考えられます。その中でも、子どもの様子をなんとか伝えたいという成果が **10.学級だよりやHPなどで発信(+21)**に表れています。また、児童の安心・安全のためにより約束やきまりについての指導を学校全体で同じ方向で徹底してきました(**13.約束やきまり100%**)。さらに、学級懇談会や個人懇談会等で保護者の方とじっくり話し合うことで、思いを共有できたことが **18.保護者の願いや思いの把握(+15)**に表れています。引き続き、ご家庭との連携を大切にしていきます。**6.挨拶の指導100%**も、挨拶の大切さを教職員で共有している結果であり、前述の低学年の挨拶のUPにもつながったと考えられます。引き続き、児童の模範となるよう努めていきます。

今後の方向性と取組について

今年度は、授業時数を確保するために最大7時間目までの時間割になりました。また、5時間目の「チャレンジタイム」や週2回の「補充学習日」で学習活動の充実を図ってきましたが、1時間の授業時間短縮の積み重ねや協働学習のあり方等により、いろいろな結果に影響していると考えられます。来年度は、感染症感染状況を考慮しながらですが、通常の校時(最大6時間目まで)に戻します。GIGA スクール構想による一人一台タブレットを活用しての学習も推進していきます。子どもたちが主体的に学ぶ授業、学校教育ならではの協働学習を充実させていけるように授業改善を図っていききたいと考えています。